

引き続きオオタバコガに注意を！

1 加害作物

なす、トマトなどのなす科果菜類、キャベツなどのアブラナ科野菜、きくなどの花き類など

2 発生と今後の予想

オオタバコガのフェロモントラップ誘殺頭数が、前回防除情報を発表した7月下旬以降も、複数の調査地点において、多いまま推移している(図1)。

また、大阪管区気象台の近畿地方1か月予報(9月1日発表)では、向こう1か月の気温は平年より高い確率が50%となっており、多発傾向が続く可能性が高い。

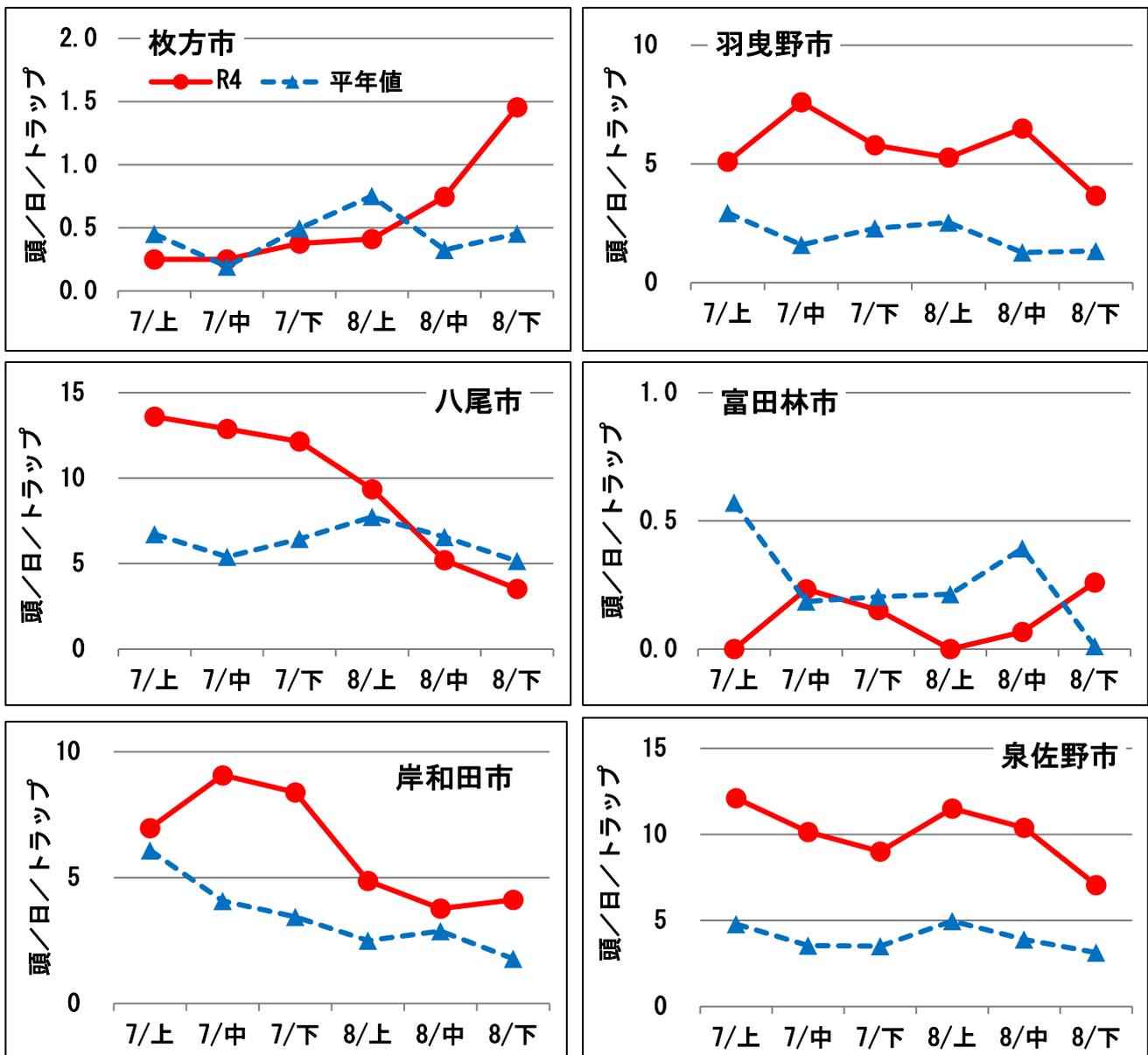


図1 オオタバコガの1日あたりフェロモントラップ誘殺頭数

3 生態と被害

卵は直径 0.4 mm、色は淡黄色（図 2）。新葉の先端や花蕾に 1 卵ずつ産みつけられ、ヨトウムシ類のように卵塊をつくらない。

幼虫はふ化直後に新葉の隙間や花蕾に侵入して食害する。体長は最大約 40 mm で、体色は淡緑～褐色である（図 3）が、変異が大きい。幼虫は 5～6 齢を経て蛹となる。

成虫の体長は約 15 mm、開張約 35 mm、体色は雄が灰黄褐色、雌は薄茶褐色（図 4）だが、変異が大きい。年 4～5 回発生する。

幼虫が蕾や果実、結球部に穴をあけて食入するのが特徴である（図 5）。大阪府内での作物への被害は、6～10 月まで続く。8～9 月の被害が最も多い。



図 2: オオタバコガ卵



図 3: オオタバコガ幼虫



図 4: オオタバコガ雌成虫



図 5: 水なすの食入痕

図 2、図 4: (地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 提供

図 3: 大阪府植物防疫協会 提供

4 防除対策

○施設への侵入防止

(1) ハウス開口部に寒冷紗（目合い 5mm 以下）を張り、成虫の侵入を防ぐ。

○薬剤防除

(1) 幼虫が果実内部や花、結球部に食入することから、薬剤による防除が難しい。

(2) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連用を避ける（系統については別添防除薬剤例、病害虫防除指針などを参照）。

○その他防除

(1) 被害残渣や摘除した茎葉・果実にも、卵や若齢幼虫が付着していることがあるので、ほ場外に持ち出し処分する。また、新しい食害痕や虫糞に注意し、その周辺を中心に幼虫を探し、捕殺につとめる。以上の耕種的防除を組み合わせた上で薬剤防除を行う。

(2) 黄色蛍光灯を終夜点灯し、成虫の行動を抑制する。なお、作物によっては、開花抑制・開花遅延が生じるので注意が必要である。

＜別添＞オオタバコガの防除薬剤例

| 作物 | 薬剤名 | 系統(IRAC) | 希釈倍数 | 使用時期 | 本剤の使用回数 |
|--------------|-------------|--------------------|------------------|-------------------|---------|
| なす | プレバソンフロアブル5 | ジアミド(28) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 |
| | スピノエース顆粒水和剤 | スピノシン(5) | 5,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 |
| | トルネードエースDF | オキサジアジン (22A) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 |
| トマト | プレオフロアブル | ピリダリル(UN) | 1,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 |
| | アフーム乳剤 | アベルメクチン (6) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 5回以内 |
| | ディアナSC | スピノシン(5) | 2,500～ 5,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 |
| キャベツ | カスケード乳剤 | ベンゾイル尿素 (15) | 2,000～ 4,000倍 | 収穫7日前まで | 2回以内 |
| | プレバソンフロアブル5 | ジアミド(28) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| | ファルコンフロアブル | ジアシル-ヒドラジン (18) | 2,000倍 | 収穫7日前まで | 2回以内 |
| 野菜類 | エスマルクDF | BT(11A) | 1,000倍 | 発生初期 但し 収穫前日まで | — |
| | フローバックDF | BT(11A) | 1,000倍 | 発生初期 但し 収穫前日まで | — |
| きく | スピノエース顆粒水和剤 | スピノシン(5) | 2,500～ 5,000倍 | 発生初期 | 2回以内 |
| | デルフィン顆粒水和剤 | BT(11A) | 1,000倍 | 発生初期 | — |
| | ロムダンフロアブル | ジアシル-ヒドラジン (18) | 1,000倍 | 発生初期 | 5回以内 |
| 花き類・ 観葉植物 | アフーム乳剤 | アベルメクチン (6) | 1,000倍 | 発生初期 | 5回以内 |
| | エスマルクDF | BT(11A) | 1,000倍 | 発生初期 | — |
| | フェニックス顆粒水和剤 | ジアミド(28) | 2,000倍 | 発生初期 | 4回以内 |

・登録は令和4年8月31日現在

・最新情報は農林水産消費安全技術センターの農薬登録情報提供システムで確認してください。

(<https://pesticide.maff.go.jp/>)

・このほかの剤については、Web版大阪府病害虫防除指針も参照してください (<http://www.jpnp.ne.jp/osaka/>)

農薬の安全かつ適正な使用を徹底し、農薬の使用に伴う事故・被害を防止しましょう。